

# 自治体初の原発差止め訴訟提起

# 工藤函館市長と思いは一緒

会派視察は「原発再稼働」などをテーマに2回実施。自治体で初めて原発建設差止めを求めて国と電源開発を訴えた函館市を訪れて意見を交換。農林水産商工常任委員会は茨城、栃木で県外調査を実施しました。

## 会派視察 島根原発の対策も視察

会派希望（のぞみ）は4月25日、美保基地と島根原発を現地調査しました。美保基地では野中司令ら基地幹部と意見交換し、大規模災害時、要介護者の避難に美保基地のC1輸送機を活用できないかなど話し合った後、完成したばかりの管



島根原発で建設中の重要免震棟。災害時の司令塔です。

制塔などを見学しました。

島根原発では原子力部長の古林常務らの説明を聞き、新基準適合審査を申請した2号機の安全対策施設や、ほぼ完成した3号機の内部を見学しました。

函館市は5月6日から訪問。工藤市長や松尾市議



函館市の工藤市長

議長と面談。函館市漁協や大間原発訴訟市民の会も訪問しました。工藤市長は「避難計画など義務だけ負われ、稼働の同意権もなく、説明会すら開かない。稼働の責任を誰が負うのかも明

## フードバレーなど調査

委員会の県外調査農林水産商工常任委員会は5月26〜29日まで茨城、栃木の両県を訪ねました。筑波学園都市では生活支援ロボット安全検証センターと1500億円を投入し



茨城県の中性子実験装置

確でない無責任体制を問いたかった」と話され、強く共感しました。

函館から東京へ飛び、事業者である電源開発や資源エネルギー庁、自然エネルギー財団、観光庁等も訪問、「緑の分権革命」の著者である椎川忍さんと面談しました。これらの経費は政務活動費をらせていただきましたが、貴重な知見を得ることができました。

て完成した世界最大の陽子加速器施設を見学しました。茨城県はこの国の施設内に独自の実験装置を置き、地場企業が研究開発に活用しておられます。国と



茨城県畜産試験場

新宿高島屋の「大学はおいしいフェア」



県がうまく連携されていると感心しました。茨城県畜産試験場では、和牛の品種改良や人工授精などについて話をお聞きしました。

栃木県庁で食品と観光のクラブを目指す「フードバレー」とちぎ構想」の説明を受けた後、「道の駅・ろまんちつく村」の地ビール製造工程や農業用小水力発電プラントも見学しました。

フードバレー構想は鳥取県でも、会派希望の提案で主要政策に採用されており、示唆に富む知見を得ることが出来ました。

私は東京駅で委員会一行と分かれ、新宿高島屋で開催中の「大学はおいしいフェア」の鳥取大学ブースを見て、帰鳥しました。